

1. 2 微生物部

令和5年度は、感染症発生動向調査事業（患者発生情報、病原体情報）、試験検査（感染症、食中毒、感染症発生動向調査に関する病原体検査等）を行った。

調査研究は、「原因不明の発熱、発疹に係る病原体検索」を行った。

試験検査業務における検体数及び項目数について、表1に示す。

1. 2. 1 感染症発生動向調査事業

(1) 患者発生情報

一類感染症から五類感染症までの全疾病について、発生状況に関する情報を迅速に収集・解析し、各関係機関及び県民に、鹿児島県感染症情報（週報、月報、年報）として提供することにより、感染症の予防及びまん延の防止に努めた。

(2) 病原体情報

県内の指定提出機関（31か所）から提供された検体について、対象疾患別に病原性細菌並びにウイルスの検索を行った（表2）。

表1 試験検査実施状況

	行政検査		一般依頼		調査研究		合計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
細菌								
感染症に関する検査	352	352					352	352
食中毒に関する検査	302	3926					302	3926
感染症発生動向調査事業	1	1					1	1
ウイルス								
感染症に関する検査	115	801			29	368	144	1169
食中毒に関する検査	163	684					163	684
感染症発生動向調査事業	57	494					57	494
感染症流行予測調査事業	133	133					133	133
HIV検査	2	4					2	4
リケッチア								
つがが虫病等検査			278	834	278	556	556	1390
その他リケッチア検査			278	278			278	278
寄生虫・衛生害虫等	5	5					5	5
合計	1130	6400	556	1112	307	924	1993	8436

1. 2. 2 試験検査

(1) 細菌検査

細菌検査の実施状況について、表3に示す。

1) 感染症に関する検査（鹿児島市を除く）

三類感染症関連の行政検査は、腸管出血性大腸菌感染症患者発生に伴う検査を行った。検査の内訳は、O157:1事例1検体（菌株1件）、O111:1事例257検体（便256件、菌株1件）、O115:1事例1検体（便1件）、O型不明:2事例7検体（便7件）であった。

四類感染症関連の検査は、レジオネラ症患者発生5事例に伴う浴槽水59件の検査を行った。

五類感染症関連の検査は、カルバペネム耐性腸内細菌感染症等の菌株14件であった。

その他の細菌検査は、エルシニア菌1件とサルモネラ菌2件、水道水の従属栄養細菌8件、医療機器の無菌試験2件を行った。

2) 食中毒に関する検査（鹿児島市を除く）

食中毒疑い事例として15件の行政依頼があり、302検体の検査を行った（表3）。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された検体について検査を実施した（表3）。

(2) ウイルス検査

1) 感染症に関する検査

保健所からの行政依頼の実施状況について、表5に示す。

2) 食中毒に関する検査

令和5年度の鹿児島市を除く食中毒疑い事例として15件の行政依頼があり、163検体の検査を行った（表1）。鹿児島県内の食中毒発生状況は表4のとおりであるが、そのうちウイルス性食中毒疑いとして搬入された事例4件、検体61件の検査を行った。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された検体について検査を実施した（表2）。

4) 感染症流行予測調査事業

21～69歳を対象に新型コロナウイルス感染症の感受性調査を行った（表6）。

表2 感染症発生動向調査事業検査結果

検出病原体	令和5年										令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	上段：検査件数（陽性件数）／下段：検体数（陽性数）													
陽性検体の種類 ^{*1} と検出病原体数 ^{*2}														
インフルエンザ		2(2)	3(3)	6(5)	3(3)	1(1)	3(2)	4(3)	11(10)	9(9)	3(3)	3(3)	48(44)	
		2(2)	3(3)	6(5)	3(3)	1(1)	3(2)	4(3)	11(10)	9(9)	3(3)	3(3)	48(44)	
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	咽1						咽1	咽2	咽3	咽3	咽1	咽11	
	インフルエンザウイルスAH3	咽1	咽3	咽5	咽3	咽1	咽1	咽1	咽6	咽2	咽1	咽1	咽25	
インフルエンザウイルスB ビクトリア系統									咽1	咽4	咽1	咽2	咽8	
細菌性髄膜炎							1(1)						1(1)	
	コクサッキーウイルスB5						髄1						髄1	
無菌性髄膜炎								1(1)	1(1)				2(2)	
	水疱・帯状疱疹ウイルス							髄1					髄1	
コクサッキーウイルスB5									髄1				髄1	
咽頭結膜熱		2(2)			1(1)				1(1)		1(0)		5(4)	
		2(2)			1(1)				1(1)		1(0)		5(4)	
	コクサッキーウイルスA9	咽1											咽1	
	コクサッキーウイルスA10				咽1								咽1	
	パレコウイルス1型				咽1								咽1	
	ライノウイルスA15	咽1											咽1	
アデノウイルスNT								咽1				咽1		

*1 咽：咽頭ぬぐい液，髄：髄液

*2 病原体は同一検体より複数検出されることがあるため，必ずしも陽性検体数とは一致しない。

(注) 突発性発疹，水痘，流行性耳下腺炎，急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎，感染性胃腸炎は検体提出なし。

5) HIV検査

鹿児島県内14保健所におけるHIV検査受検者のうち，迅速検査で判定保留となり，確認検査依頼があった2件について検査を行い，2件陽性であった。

(3) リケッチア検査

1) 依頼検査

つつが虫病予防対策事業による抗体検査においては，278件の検査依頼があり，そのうちペア血清で検査を行ったものが78件であった。血清学的につつが虫の抗体価陽性が43件，日本紅斑熱の抗体価陽性が16件，ペア血清で陰性のものが30件であった。

(4) 寄生虫・衛生害虫等検査

1) クリプトスポリジウム等検査

「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」及び「飲料水におけるクリプトスポリジウム等の検査結果のクロスチェック実施要領」(平成19年4月，厚生労働省)に基づき，加圧ろ過ーアセトン溶解法にて，水道原水5件(浅井戸2件・深井戸1件・湧水2件)について検査を実施し，陰性であった。

2) その他の検査

県内医療機関よりレプトスピラ症の検査依頼が11件あり，国立感染症研究所へ行政検査の依頼を行った。その結果，3件がレプトスピラ症と診断された。

1. 2. 3 精度管理

(1) 細菌検査

(一財) 食品薬品安全センター主催の外部精度管理(一般細菌数測定検査)，食品の安全確保推進研究事業(MLVA)，パルスネット精度管理に参加した。

(2) ウイルス検査

令和5年度厚生労働省外部精度管理事業(新型コロナウイルスの次世代シーケンシングによる遺伝子の解読・解析，麻しん・風しんウイルスの核酸検出検査)，厚生労働省委託事業(新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査)に参加した。

表3 細菌検査の実施状況（鹿児島市を除く）

区 分		菌株	便	食品	拭き取り	水	その他	計
行政 依頼	三類感染症関連	2	264					266
	四類感染症関連					59		59
	五類感染症関連	14						14
	その他の細菌	3				8	2	13
	計	19	264			67	2	352
細菌性食中毒検査			179	86	37			302
感染症発生動向調査							1	1
合 計								655

表4 食中毒発生状況（鹿児島市を除く）

発生日	発生地	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	原因物質	原因施設
令5.10.17	始良市	不明	1	0	10月14日に提供された食事	腸管出血性大腸菌O157	飲食店
令5.12.1	枕崎市	35	3	0	11月28日に提供された食事	カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	飲食店
令5.12.7	奄美市	26	13	0	12月6日に提供された食品	ノロウイルス	飲食店
令6.1.9	喜界町	68	21	0	1月8日から1月13日の5日間（1月9日を除く）に提供された食事	ノロウイルス	飲食店
令6.1.14	和泊町	不明	14	0	1月13日に提供された食事	ノロウイルス	飲食店
令6.2.26	和泊町	41	16	0	2月26日に調理・提供された食事	ノロウイルス	給食施設
合計6件		170	68				
前年度計7件		113	113				

（注）「発生地」は、原則として「原因施設所在地」を掲載。ただし、原因施設が不明の場合は、主な患者の発生場所を掲載。

（集計 生活衛生課）

表5 ウイルス行政依頼検査件数

疾患名	依頼数 (陽性数)	検体数 (陽性数)	検出ウイルス（検体数）
重症熱性血小板減少症候群	39(9)	39(9)	SFTSウイルス(9)
急性脳炎	10(4)	27(6)	ヘルペスウイルス6型(2), 水痘・帯状疱疹ウイルス(1), SFTSウイルス(1), インフルエンザウイルスAH1pdm09(1), ノロウイルスGII(1)
麻しん	11(0)	29(0)	
エムボックス	3(2)	7(6)	エムボックスウイルス(6)
インフルエンザ	7(6)	7(6)	インフルエンザウイルスAH3(6)
デング熱	1(1)	1(1)	デングウイルスD2(1)
チクングニア熱	1(0)	1(0)	
感染性胃腸炎	4(3)	4(3)	ノロウイルスGII(3)

（注）病原体は同一検体より複数検出されることがあるため、必ずしも陽性検体数とは一致しない。

表6 新型コロナウイルス感染症中和抗体保有状況

年齢層（歳）	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
対象者数（人）	0	0	0	0	7	17	38	40	31	133
抗体保有率（％）	0	0	0	0	100.0	100.0	78.9	92.5	100.0	91.7